

エグゼクティブサマリー

■ 事業の目的・内容

新しく導入する「健康増進アプリ」で各種の健康増進キャンペーンを実施、また日常的な健康意識の向上、行動変容に向けたセルフケア推進を行うことで、コラボヘルスの共通KPIの改善に向けた取り組みを検討し、施策の改善を進める。

■ 成果指標の実績

<2022年度 短期成果（アウトプット）>

	健康機会増進	目標値	実績値	達成率	評価
①	アプリ登録率	15%	7.7%	51.3%	△
②	アプリ活用率(運動)	50%	98.6%	100%	○
③	アプリ活用率(食事)	20%	22.2%	100%	○

<2023年度 中期成果（アウトカム）>

	意識変容	目標値	実績値	達成率	評価
①	健診結果誤認率(血圧)	25%	27.3%	59.6%	△
②	健診結果誤認率(脂質)	20%	22.4%	52.9%	△
③	健診結果誤認率(血糖)	45%	45.1%	86.7%	△

(※誤認率であるため低い方が良い値)

	行動変容	目標値	実績値	達成率	評価
①	生活習慣改善	65%	62.3%	50%未満	×
②	運動習慣改善	50%	45.4%	50%未満	×

■ 総括

- 高い目標設定に対して、目標達成は限定的であるものの、成果報酬の基準を達成することができた。
 - アプリ利用者に限っては、全ての目標を達成しており、アプリの普及の有効性を感じる事ができた。
- 引き続き健康増進活動の基盤強化を目的に、健康情報発信プラットフォームとしてアプリの登録・活用を促進、「認知→意識→習慣化」の行動変容を目指し、メタボ該当者の減少、プレゼンティーズムの減少、医療費適正化につなげていきたい。

1. 目的

<保健事業としての目的>

背景	<ul style="list-style-type: none"> ・コラボヘルス推進により、健康意識の向上および運動習慣の定着を推進することを目的とし、健保と事業主共催の「健康づくりキャンペーン」を2012年度から継続実施してきた。 ・さらに、コラボヘルスの共通KPIを評価するためにアンケート（健康度調査）を実施し、リスク保有者の自身の健康に関する理解、加入者の生活習慣の改善意識や運動状況について計測してきた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の事業を事業主と協働で実施しているが、健康意識の向上および運動習慣改善の伸び悩み。 ・アンケート調査、キャンペーン参加状況等による評価は行ってきたものの日常的な状況を可視化できていない。
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の健康増進活動の基盤強化 ・健康増進活動の基盤を活かした健康意識の向上および運動習慣改善促進によるコラボヘルスの共通KPIの改善

<PFS事業としての目的>

意識および行動変容から、メタボ対象者および医療費減少につなげ、事業主の健康経営のKPI改善に貢献する

A 短期成果
加入者の健康機会増進

B 中期成果
健康意識醸成、生活習慣改善

C 最終成果
メタボ対象者の減少による医療費減少

コラボヘルスによる健康づくりキャンペーン
を通じた**健康意識醸成**

生活習慣改善による
最終成果（医療費）の可視化

健康課題

- A 加入者の健康機会増進**
- 健康教育・アンケート調査
 - 健康づくりキャンペーン等イベント実施
 - アプリ登録、活用の促進
- B 健康意識醸成**
- リスク保有者の正しい理解促進

コラボヘルス推進に
対する
成果連動型保健事業

事業課題

- B 生活習慣改善**
- 生活改善意識の向上
 - 運動習慣改善
- C メタボ該当者の減少**
- 【事業主と共通】メタボ該当者の減少
 - 【事業主】プレゼンティーイズム減少
 - 【健保】医療費減少

2. 事業内容

新しく導入する「健康増進アプリ」を健康情報発信のプラットフォームとして活用

- 各種の健康増進キャンペーン等を実施
- 日常的な健康意識の向上および行動変容に向けたセルフケアを推進

コラボヘルスで推進するKPIを関係者全体で改善

成果

最終成果 メタボ該当者の減少による医療費最適化「生活習慣病の医療費削減」

中期成果 健康意識醸成、生活習慣改善

健康意識醸成

生活習慣改善

運動習慣改善

加入者の健康機会増進 QOLeader

キャンペーン参加率

アプリ登録率、活用率

事業

加入者の健康機会増進 QOLeader

アプリ内でのキャンペーン展開

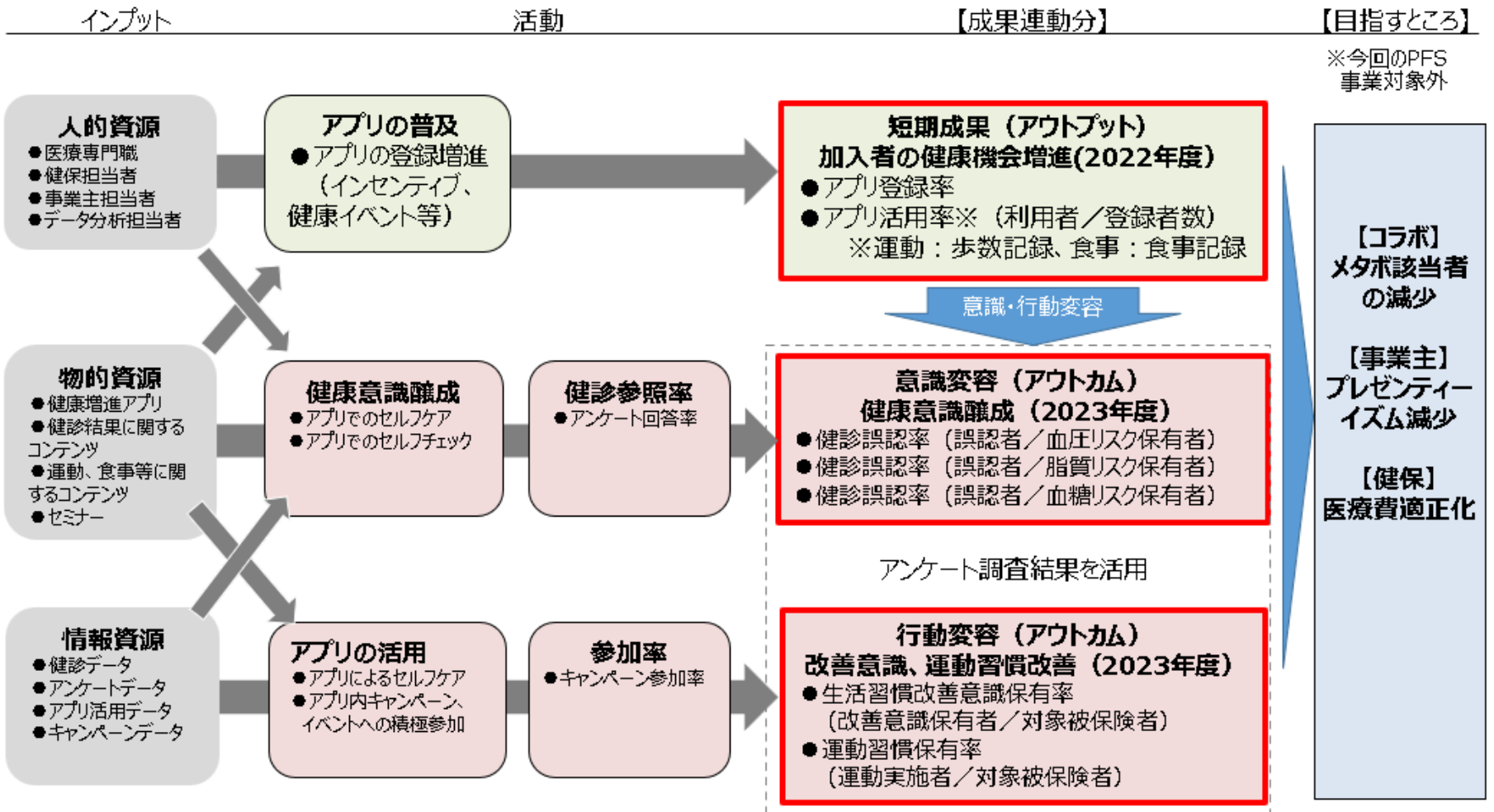
アプリによるセルフケア推進

過去コラボヘルスにて実施したアンケート調査および健康づくりキャンペーンデータの活用
みずほリサーチ&テクノロジーズ

健康意識醸成、生活習慣改善

3. PFS事業の支払条件・ロジックモデル

現状の共通KPIに対して、「健康増進アプリ」を健康情報発信等のプラットフォームとして活用し、健診結果の正しい理解と生活習慣改善意識・行動変容につなげていく。



3. PFS事業の支払条件・ロジックモデル

<支払い条件>

定義	健康機会増進（短期成果）		
成果指標	アプリ登録率	アプリ活用率（運動）	アプリ活用率（食事）
計算方法	登録者／対象被保険者	運動活用者／登録者	食事活用者／登録者
対象データ	アプリ登録者数	歩数記録	食事に関するアプリ使用回数
データ入手方法	健康増進アプリから取得		
目標値	15%	50%	20%
評価時期	2023年2月		
エビデンス	導入健保の初年度の平均的な状況に当健保状況を加味し算出		
支払条件	100%以上：100% 80%以上～100%未満：80% 50%以上～80%未満：50% 50%未満：支払いなし		

3. PFS事業の支払条件・ロジックモデル

<支払い条件>

定義	健康意識醸成（中期成果）				
成果指標	健診結果誤認率			生活習慣改善意識 保有者率	運動習慣 保有者率
	血圧リスク保有者	脂質リスク保有者	血糖リスク保有者		
計算方法	リスク誤認者（アンケート結果） / リスク保有者（健診結果） ※誤認率であるため、低いほうが良い値			改善意識保有者 / 対象被保険者	運動習慣保有者 / 対象被保険者
対象データ	健診結果、アンケート調査結果				
データ入手方法	健診結果、アンケート調査結果から取得				
目標値	25%	20%	45%	65%	50%
評価時期	2023年12月				
エビデンス	アンケート調査結果の経年の状況から目標値を算出				
支払条件	改善値の値を基に以下の条件で支払いを行う 100%以上：100% 80%以上～100%未満：80% 50%以上～80%未満：50% 50%未満：支払いなし				

アンケート：YKKグループ健康度調査

毎年1回、事業主との共同事業として、一般被保険者全員に対し、e-ラーニング後に生活習慣全般の状況および健康づくりへの取り組み状況を調査
2023年度実績では、対象者17,375名に対し回収率90.4%

4. 主な活動報告

<アプリを活用した健康増進施策>

		2022年度		2023年度			
		9月－3月		4月－9月		10月－3月	
YKK	通年取組	利用促進、施策検討、広報活動					
	主催イベント	健康づくり キャンペーン	登録 キャン ペーン	ウォーキン イベント	登録 キャン ペーン	健康づくり キャンペーン	
QOLism	ウォーキング			ウォーキン イベント	ウォーキン イベント		ウォーキン イベント
	共通イベント	紹介 キャン ペーン	睡眠 チャレンジ	マインド フルネス	口腔 ケア		飲酒 施策
	推進策	施策提案、広報資料作成、オンラインセミナー実施、各種サポート					
	機能	<標準機能> 歩数記録、食事記録、身体計測、 エクササイズ動画、疾病リスクチェック 健康コラム、レシピ、ランク表示、抽選機能			<追加機能> 健康診断の基礎知識 医療機関検索・症状検索		



5. 保健事業としての成果と評価

<アプリ登録率>

促進イベントを行うことで、徐々に登録率を上げることができた。

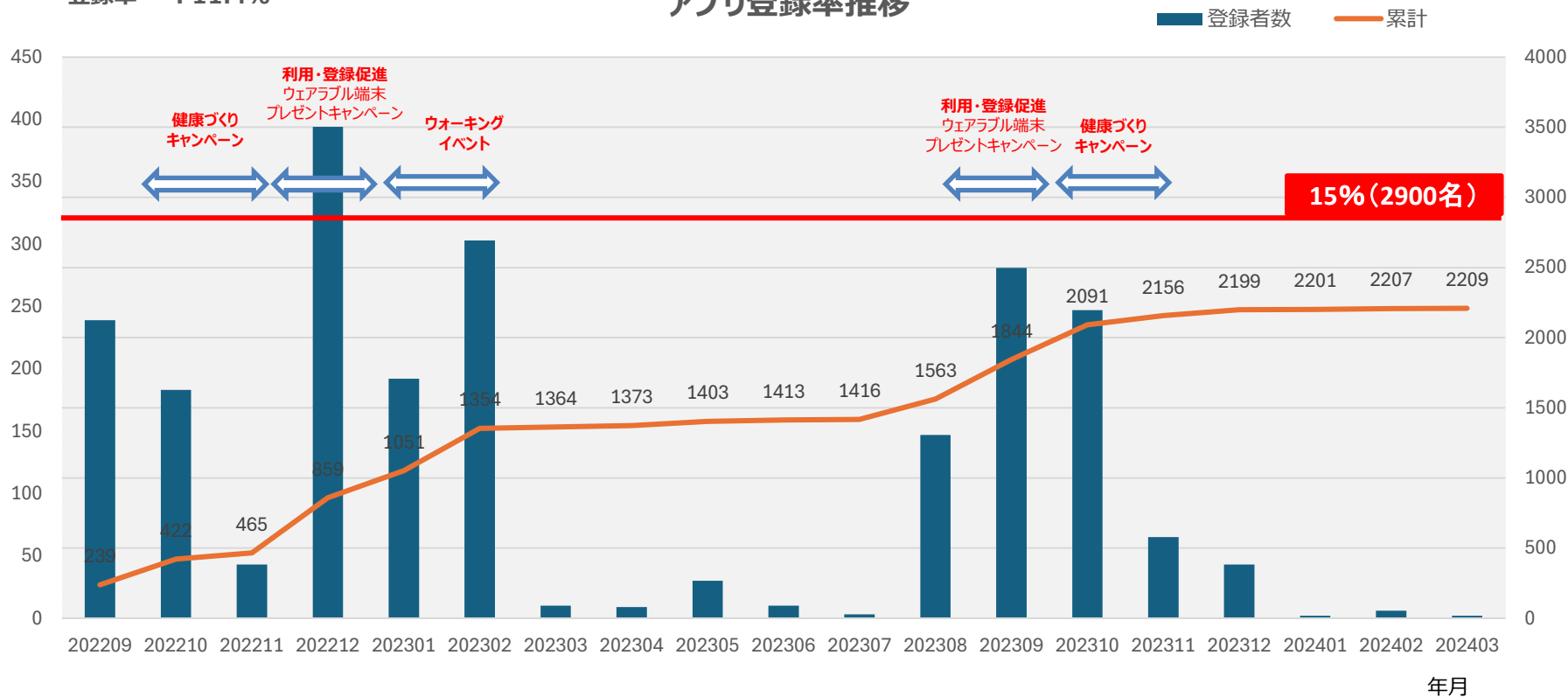
2024年3月末時点

母数 : 19,338名

登録者数 : 2,209名

登録率 : 11.4%

アプリ登録率推移



5. 保健事業としての成果と評価

中期成果（健康意識醸成・生活習慣改善）指標では、アプリ登録者と未登録者で、各指標の値で差が見られ、アプリ登録者に限定するとすべての指標で目標を達成した。

成果指標	健診誤認率 (血圧リスク保有者)	健診誤認率 (脂質リスク保有者)	健診誤認率 (血糖リスク保有者)
目標値	25%	20%	45%
実績	27.3%	22.4%	45.1%
アプリ登録者誤認率	24.1%	18.9%	41.8%
アプリ未登録者誤認率	27.7%	22.9%	45.5%

(※誤認率であるため低い方が良い値)

成果指標	生活習慣改善意識保有者率	運動習慣保有者率 (週1日以上30分以上の運動)
目標値	65%	50%
実績	62.3%	45.4%
アプリ登録者成果	72.3%	50.0%
アプリ未登録者成果	60.9%	44.7%

6. PFS事業としての成果

高い目標設定に対して、一部を除き、成果報酬の基準（達成率50%）を上回った。

<短期成果>

成果指標	アプリ登録率	アプリ活用率（運動）	アプリ活用率（食事）
目標値	15.0%	50.0%	20.0%
実績	7.7%	98.6%	22.2%
達成率	51.3%	100%	100%

<中期成果>

成果指標	健診結果誤認率			生活習慣改善意識 保有者率	運動習慣 保有者率
	血圧リスク保有者	脂質リスク保有者	血糖リスク保有者		
現状値 [A] (2021年度実績)	30.7%	25.1%	49.0%	61.4%	45.4%
目標値 [B] (2023年度)	25.0%	20.0%	45.0%	65.0%	50.0%
実績値 [C] (2023年度)	27.3%	22.4%	45.1%	62.3%	45.4%
目標基準値 [D:A-B] (目標と現状の差)	5.7%	5.1%	4.5%	3.6%	4.6%
改善値 [E:A-C]	3.4%	2.7%	3.9%	0.9%	0.0%
達成率 [E/D] (基準値に対する改善割合)	59.6%	52.9%	86.7%	25.0%	0.0%

(※誤認率であるため低い方がよい値)

7. 今後の事業方針

アプリ登録者と未登録者では、各指標の値で差が見られ、アプリ登録者については目標達成ができたことから、モデルとしては有効であると考えられる。

引き続き、健康増進活動の基盤強化を目的として、健康情報発信プラットフォームとしてのアプリの登録・活用を促進する。

生活習慣・健康習慣の改善から、リスク該当者の減少による医療費適正化の好循環が生じるよう取り組みを進めていきたい。

